

多情佛心 (1957)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 96分
初公開日 1957/05/07

【解説】

里見とんの同名小説を「女優」の新藤兼人がシナリオ化し「若さま侍捕物手帖 鮮血の晴着」の小沢茂弘が監督した。撮影と音楽は「らくだの馬さん」の藤井静と山田栄一が担当。主演は「曙荘の殺人」の佐野周二と「不良女学生」の藤里まゆみ。

昭和六年。親からの遺産を受け継いだ藤代信之は、本業の弁護士よりも、色事師や道楽者として有名になっていた。いつものように柳橋の料亭を訪れた信之は、女将おもんの妹お澄と知り合い恋に落ちる。しかし彼女が父の仇である実業家の妾であることを知り、お澄を激しくなじり彼女の家を飛び出すが、そこで信之は吐血してしまう。父親ゆずりの胃癌にむしばまれた信之は、自分の身に死が近づいていることを悟った。ある日、西山普烈が過去の交際をめぐり信之を脅迫するが、真心の尊さを説かれ真の愛に目覚め、恋人である与禰子のもとに駆けつける。だが普烈は誤って与禰子の夫を殺害。信之は彼を救うため、一生に一度の弁護を決意するのだった。

【クレジット】

監督	小沢茂弘	
企画	根津昇	
原作	里見とん	
脚本	新藤兼人	
撮影	藤井静	
美術	進藤誠吾	
音楽	山田栄一	
出演	佐野周二	藤代信之
	藤里まゆみ	明子
	真蔵孝行	一子信紀
	三浦光子	おもん
	大川恵子	お澄
	高倉健	西山普烈
	星美智子	与弥子
	岡田敏子	鈴江
	月丘千秋	美津枝
	増田順二	三好
	多々良純	市川
	加藤嘉	伊庭
	神田隆	瀬川
	千田是也	桑木
	英百合子	おぎん

岸輝子	かね
中村是好	三吉
桧有子	お辰
山形勲	八田
小塚十紀雄	裁判長
滝謙太郎	財部
戸田春子	お直
不忍郷子	お勢
稲植徳子	さき
若木悦子	不動堂の女房
菅沼正	刑事
ハロルド・S・コンウェイ Harold S. Conway	マッケンゼン